



群馬県立心臓血管センター

# 地域医療連携たより

No. 79

当センターは《地域医療支援病院》です。

群馬県立心臓血管センター

地域医療連携室

〒371-0004 群馬県前橋市亀泉町甲 3-12

TEL:027-269-7455 (内線 2040・2043) / FAX:027-269-7286

URL: <https://www.cvc.pref.gunma.jp/>

目次

- ▶ 令和8年度群馬県立心臓血管センター症例検討会のご案内
- ▶ 院長退官挨拶……前院長：内藤 滋人
- ▶ 副院長退官挨拶……前副院長：江連 雅彦
- ▶ 院長就任挨拶……院長：河口 廉
- ▶ 副院長就任挨拶……副院長：星野 丈二
- ▶ 副院長就任挨拶……副院長：小板橋 紀通
- ▶ 地域医療連携室長就任挨拶……医療局長：山下 英治
- ▶ 令和8年度新入職医師紹介
- ▶ 令和8年4月度外来担当医一覧表

## ゴールデンウィーク期間中の当センター外来診療について

ゴールデンウィーク[4/29(水)、5/4(月)～5/6(水)]の間は、通常の外來診療を休診とし、急患のみの対応となります。

令和8年度

## 群馬県立心臓血管センター 症例検討会のご案内

日本医師会生涯教育 [1.5単位] 認定の検討会です

日程	内容	ミニレクチャー	症例検討	症例検討
5月19日	症例検討会	症例検討会・学術講演会とともにWebと会場参加を合わせたハイブリット形式での発表を予定しております。 発表内容、開催日につきましては、改めてご案内申し上げます。		
9月頃予定	学術講演会			
11月頃予定	症例検討会			
1月頃予定	症例検討会			
2月頃予定	学術講演会			
3月頃予定	症例検討会			

参加費 無料です

令和7年度の症例検討会・学術講演会は、前年度同様Webと会場参加を合わせた形式にて開催いたしました。Web配信では、遠方の先生方や、初めてご参加の先生方からもご視聴いただいております。心より感謝申し上げます。

本年度も、好評いただいているWeb配信を継続しつつ、症例検討会・学術講演会を開催いたします。開催が決まりましたら、改めてご案内をお送りいたします。よろしくお願い申し上げます。

令和8年4月発行

## 院長退官にあたって

私は、平成2年から前身の県立前橋病院に勤務し、平成6年からは新設された群馬県立循環器病センター、さらに平成13年から名称が改められました現在の県立心臓血管センターに勤務しておりますので、延べ34年以上となります。

平成11年には、フランスのボルドー大学付属病院で世界に先駆けて始まり、心房細動のカテーテルアブレーションを研修させていただきました。帰国後日本でも先駆けとして開始し、全国から集まりました述べ78名の不整脈医とともに、国内でもトップクラスのアブレーション施設を作り上げてまいりました。

その後、平成30年に院長に就任し、本年まで8年間務めさせていただきました。

その間、「患者本位の医療」という当センターの理念のもと、質の高い高度最先端医療の提供、医療安全管理体制の確立、地域医療連携の推進、そして、健全で効率的な病院経営を行うことに尽力してまいりました。

院長時代の思い出としましては何と云っても、令和2年からの新型コロナウイルスのパンデミック対応が挙げられます。自治体病院という性格上、多くの陽性患者さんの受け入

れを求められましたが、心臓血管治療の最後の砦としても機能との兼ね合いを保つべく、非常に厳しい対応を迫られました。その際には登録医の先生方にも大変お世話になりました。群馬県の心臓血管治療の崩壊に至らず、何とか切り抜けることができました。大変ありがとうございました。

もう一つの思い出は、昨年第63回全国自治体自治体病院学会 in 群馬を開催したことです。群馬県内13自治体病院の力を結集し、多職種にわたる学会を盛会で行うことができました。きっと今後の群馬の医療におきましても、大きな財産となったものと思います。

昨今、病院を取り巻く状況は、経営面のみならず医師をはじめとする人材確保面でも厳しくなっております。退職後も心臓血管センターでの臨床のみならず、心臓血管センターの将来の在り方なども現役職員と共に考えていきたいと思っています。

これからも登録医の先生方には大変お世話になると思いますが、よろしくご指導をお願いして、私の退職のあいさつとさせていただきます。長い間、大変お世話になりました。



ないとう しげと  
内藤 滋人 《前院長》

## 副院長退官にあたって

2025年度をもちまして退官いたします。在職中は大変お世話になりました。当地に赴任したのは2000年4月からです。当時はそのまま26年ここでお世話になるとは想像もしていませんでした。不安もありましたが、直ぐにそれも払拭されました。先代主任の金子達夫先生を中心とした手術のレベルやシステムの確立性の高さに感嘆しました。ICUも皆良く鍛えられた精鋭たちで、術後の管理も早々に帰宅できました。当時それだけのことができていたのは日本では少なかったと思います。当初から循環器内科との壁もなく、他科の先生方とも話やすく、病棟やコメディカルのスタッフも積極的に働きやすい環境でした。

26年の間にはICU、手術室、カテ室の改築やリハ棟の増設があり、ハイブリッド手術室もでき、電子カルテの導入もありました。手術数は増加し、心臓血管外科医師も当初の6名から9名に増え、新しい手技、技術の導入もありました。大動脈疾患に対するステントグラフトや、心臓疾患に対するTAVRなどのストラクチャー医療は国内において比較的早期から開始することができました。重症心不全に対する植込み型LVAS治療も、初期開始7施設の一つとなりました。こうした治療はチーム医療というシステムを再考する機会ともなりました。これらの実現には歴代の院長のご理解や、共

に苦勞してくれた心臓血管外科の仲間、様々な要求に答えてくれた他科の先生方のお陰でもあります。勿論それを支持していただいた先生方に改めて感謝申し上げます。

後半は病院の経営や医療安全についても関わらせてもらいました。病院収支は診療報酬制度に大きく左右され、さらに医療材料の消費税が大きな負担となります。経営の難しさが身に沁みましたが、その中でできる経営努力は続けてきました。

また残念ながら、大きな災害もありました。2011年3月11日の東日本大震災、2019年に発生した新型コロナウイルス感染症は大きなインパクトを受けました。通常と言われている医療が、災害時には難しいものになることを痛感させられました。自然災害に対する対処だけでも大変な労力を要するというのに、人間は愚かでいまだに戦争、紛争をおこなっています。簡単に人が殺されていく様をみると、我々がやっている医療の無力さを感じずにはいられません。

不安、懸念事項はありますが、これまで通り「県内で循環器の最上の医療を提供できるのは当院である」ことに誇りを持って従事してくれると確信しております。

皆様、どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。



えづれ まさひこ  
江連 雅彦 《前副院長》《前心臓血管外科第一部長》

## 院長就任にあたって

平素より群馬県立心臓血管センターの診療ならびに地域医療連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、令和8年4月1日付をもちまして、群馬県立心臓血管センター院長を拝命いたしました河口廉でございます。県立の高度専門医療機関を預かる責任の重大さを深く受け止め、誠心誠意その職責を果たす覚悟でございます。

私は1999年に当院循環器内科に入職し、2006～2007年の留学期間を除き、一貫して当センターの虚血部門の診療に携わってまいりました。2009年より循環器内科第一部長としてPCIの高度化を推進するとともに、大血管疾患および構造的疾患に対するカテーテル治療の導入と体制整備に取り組んでまいりました。

また、2018年より地域連携室長として地域医療連携の強化に努め、2023年からは医療局長、2025年からは副院長として、病院全体の診療体制および運営に携わっ

てまいりました。臨床・連携・運営の各領域で得た経験を生かし、組織としての機能向上と医療の質のさらなる向上に尽力してまいります。

当センターは、循環器・心臓血管疾患に特化した県立の基幹施設として、安全で質の高い最先端の医療の提供を使命としております。急性期医療の充実に加え、適時適切な逆紹介と的確な情報共有を徹底し、地域完結型医療体制の確立に引き続き貢献してまいります。

地域の先生方との信頼関係を何よりの基盤とし、透明性と継続性を重んじた医療運営を堅持する所存です。そのためにも、職員一丸となって邁進できる環境を整え、組織としての力を最大限に発揮できる体制づくりに努めてまいります。

今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。



かわぐち れん  
河口 廉 《院長》

## 副院長就任にあたって

平素より当院の診療に多大なるご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

この度、副院長を拝命いたしました。星野丈二です。この場をかりてご挨拶させていただきます。

私は、桐生市出身です。桐生の高校を卒業後、前橋の予備校を経て、北海道で学生時代、研修医時代を過ごしました。北海道では医師免許と妻を取得しました。その後、約15年間、神奈川県内の病院で心臓血管外科の修練を行いました。

そして、2017年よりご縁があり、地元である当院へ勤務させて頂いております。私の“星野”という姓は赤城山周辺に多いと思います。私が赤城山の麓に位置する当院へ勤務することになったのは、ご先祖様の導きによるものと思っています。

さて私は、成人の心臓疾患、大血管疾患、末梢血管疾患の外科治療に携わって参りました。心臓血管疾患に対する診療は、急性疾患から慢性疾患、疾患の再発予防まで地域の先生方と密接な連携のなかで成り立つと考えてお

ります。日頃先生方におかれましては、たくさんの患者さんを診られている中に、時々重症の患者さんに遭遇することがあると思います。そんな緊張感のなかで診療に当たられている先生方に、頼っていただける病院であるよう努めてまいります。

一方、心臓血管疾患においても低侵襲の新しい治療が行われるようになってきました。そしてそれが標準的な治療の選択肢になる時間的な速度がとて早くなっています。群馬の方々が東京方面へ行かなくても、新しい治療を含めた標準的な治療を、住み慣れた群馬で受けられるよう、さらに、安全で質の高い治療を安心して受けられるよう、努めてまいります。

そして、そのような治療を群馬で持続可能に提供できるよう、後進の育成も行いながら、地域の医療にすこしでも貢献できるよう尽力してまいります。

今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願いします。



ほしの じょうじ 《副院長》《心臓血管外科第三部長》  
星野 丈二 《集中治療部長》

## 副院長就任にあたって

この度、2026年4月より副院長を拝命しました小坂橋紀通です。医療安全および心臓リハビリテーション部門の長も併任いたします。私は1997～2000年に当院で研修し、新院長の河口先生とは当時の仲間です。当院は当時より「日本の循環器病院」を目指し、その理念は現在も受け継がれています。特に心臓リハビリテーション（心リハ）は、当院が我が国を牽引してきた重要な診療分野です。

私は当院での臨床研修後、群馬大学大学院を経て、米国ジョンズホプキンス大学に留学し、分子生物学と循環動態を結びつける研究に従事してきました。帰国後は群馬大学で臨床と研究を両立し、心リハ、心不全、血栓症、腫瘍循環器、遺伝性心疾患など幅広く診療に携わってきました。また、院内発症静脈血栓塞栓症の予防ガイドラインの作成など、群馬大学医学部附属病院の医療安全にも関わってきました。2025年から当院の心リハ・心不全部門で勤務しております。

近年、心不全治療は大きく進歩し、心リハは運動療法にとどまらず、再入院予防や生活指導、服薬管理を含む包括的治療として、その有効性が確立され、ガイドラインにも記載されています。2026年度診療報酬改定では「心不全再入院予防継続管理料」が新設され、外来・在宅も含めた継続的な管

理と多職種連携の重要性が一層高まっています。

当院では医師のみならず、看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士等が連携し、急性期から回復期、外来まで一貫した心不全管理を行っています。地域の先生方には日常診療の中での継続管理を担っていただきつつ、増悪時や専門的評価が必要な際には速やかにご紹介いただける体制を整えております。

今後は、心リハを含めた包括的な循環器診療を通じて、急性期から慢性期まで切れ目のない医療提供体制を構築し、地域の先生方との連携をさらに強化してまいります。かかりつけ医の先生方には日常診療での継続管理を担っていただきつつ、当院は急性期対応や専門的評価・治療を担うことで、相互にメリットのある地域医療の実現を目指します。さらに医療安全部門も担当する立場として、安心して患者さんをご紹介いただける質の高い医療体制の維持・向上にも努めてまいります。すべての循環器患者が適切な医療と心リハの恩恵を受けられる体制づくりに尽力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



こいたばし のりみち  
小坂橋 紀通 《副院長》《心臓リハビリテーション部長》

## 地域医療連携室長就任にあたって

登録医の皆様におかれましては、平素より当院の病診連携・病病連携で大変お世話になっております。心より御礼申し上げます。

この度、令和8年4月より地域医療連携室長を拝命いたしました山下英治です。

私は平成17年に当院レジデントとして入職後、自治医科大学へき地勤務と産業医科大学への心エコー国内留学期間を除き、これまで18年余り当院の循環器内科で診療に従事して参りました。その間、先生方から多くの患者さんをご紹介頂いたおかげで、多くの診療経験を積むことができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

当院は循環器疾患の患者さんを中心とした専門性と質の高い医療を目指しております。不整脈に対するカテーテルアブレーションや弁膜症に対するカテーテル手術、心臓外科手術、心臓リハビリテーションなど、各領域の治療症例数とその質は全国トップレベルと自負しております。

それと同時に地域支援病院としての役割にも重点を置いております。

先生方からご紹介頂きました患者さんに対し迅速に検査・治療を行い、安定した状態で速やかに逆紹介させて頂くことが当院の役割です。

また、緊急搬送された患者さんが退院される際にはかかりつけ医の機能を担われる登録医の先生方への紹介を今後も進めて参ります。

心不全パンデミックの昨今、急性期ならびに慢性期心疾患のマネージメントが近年さらに重要度を増してきております。高度急性期循環器医療を担う当院と慢性期診療を担う登録医の先生方と両輪として連携しつつ、群馬県ならびに隣県の地域医療・循環器医療に貢献していく所存です。

そのために地域医療連携室では先生方との医療連携を更に密にして進めて参ります。

登録医の先生方には、今後ともより一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



やました えいじ  
山下 英治 《医療局長》《地域医療連携室長》  
《循環器内科第三部長》

# 令和8年度 新入職医師紹介

入職した9名の医師をご紹介します

心臓血管外科  
医長



一言コメント：  
「精一杯頑張ります。よろしく  
お願いします。」

よこやま しょうへい  
**横山 昌平**  
卒業年：平成 28 年

一言コメント：  
「地域の皆様のお力になれるよ  
う務めさせていただきます。よろ  
しくおねがいします。」

くどう ちか  
**工藤 千佳**  
卒業年：平成 25 年



整形外科  
部長

一言コメント：  
「より安全な麻酔管理ができる  
よう精一杯頑張ります。よろしく  
お願いいたします。」

みちざき みのる  
**道崎 実**  
卒業年：平成 30 年



麻酔科  
医長

循環器内科  
シニアレジデント



一言コメント：  
「優しくかつしっかりした診療をし  
ていきたいと思えます。よろしく  
お願い致します。」

まつばら かずき  
**松原 一樹**  
卒業年：平成 30 年

一言コメント：  
「はじめまして。地域の方々に  
信頼いただけるようがんばりま  
す。」

さとう みどり  
**佐藤 みどり**  
卒業年：令和 2 年



循環器内科  
シニアレジデント

循環器内科  
シニアレジデント



一言コメント：  
「患者さんのためにできることは  
何か」を常に意識しながら精一  
杯がんばりたいと思えます。よろし  
くお願いいたします。」

かるべ てつや  
**苅部 哲也**  
卒業年：令和 3 年

一言コメント：  
「患者さんに寄り添った丁寧な  
診療をして参ります。よろしくお  
願い致します。」

いづか たくみ  
**飯塚 拓巳**  
卒業年：令和 4 年



循環器内科  
レジデント

循環器内科  
レジデント



一言コメント：  
「一日も早く業務に慣れ、患者様に  
信頼される医師になれるように精一  
杯精進いたします。ご指導のほど、  
どうぞよろしくお願い致します。」

かじお たかのり  
**梶尾 孝徳**  
卒業年：令和 5 年

一言コメント：  
「地域の方々のために精一杯  
がんばります。よろしくお願いい  
たします。」

くぼ た りゅうへい  
**久保田 竜平**  
卒業年：令和 6 年



循環器内科  
レジデント

令和 8 年 4 月 1 日付けで、上記の 9 名の医師が新入職いたしました。  
既に連携関係にてお世話になっております。今後ともよろしくお願い致します。

## 退職医師

令和8年3月をもって、7名の医師が退職いたしました。在職中、大変お世話になりました。

- 心臓血管外科(副院長)……………江連 雅彦  
※ 令和 8 年 4 月より非常勤医：詳細は外来担当表をご確認ください
- 健康指導局(健康指導局長)……………村上 淳
- 外科(部長)……………須藤 利永

- 整形外科(部長)……………金子 聡也
- 循環器内科(医長)……………中島 貴文
- 麻酔科(医長)……………南雲 航
- 循環器内科(シニアレジデント)……………増山 大樹

# 群馬県立心臓血管センター 外来担当医一覧表

※業務都合等で変更となる場合もありますので、確認のうえご連絡ください。

※4月以降の外来担当医一覧表は当院ホームページをご確認ください。

令和8年4月

診療科		医師名	月	火	水	木	金	診療科	医師名	月	火	水	木	金	
循環器内科	虚血性心疾患部門	午前	かわぐち けん 河 口 廉	●	●			●	心臓血管外科 ※午後の診療は 受付12:30～ (急患を除く)	午前 午後	やまだ やすゆき 山 田 靖 之			第3除く 午後	
			くりばら じゅん 栗 原 淳	●			●				ほしの しょうじ 星 野 丈 二			第4除く	
			やの ひでき 矢 野 秀 樹			●	●				はせがわ ゆたか 長 谷 川 豊			第4除く 午後	
			けみ ゆうた 毛 見 勇 太		●						おかだ しゅういち 岡 田 修 一			第3,4 午後	
			きのした せし 木 下 聡			第4除く					いとだ よしふみ 井 戸 田 佳 史			午後	
		いしやま たく 石 山 卓					●	えづれ まさひこ 江 連 雅 彦			第4午前	第1,2午前 第3,4 午前午後			
		ふくし ともこ 福 士 朋 子						はせがわ ゆたか 長 谷 川 豊				第1,4除く 午後	第3除く 午後		
		おおしま しげる 大 島 茂			●	●		すずき じゅんこ 鈴 木 純 子			●			●	第1,5
		ほしざき ひろし 星 崎 洋					●	しょうじ ひさのり 東 海 林 久 紀				●	●		第2,3,4
		とやま たくじ 外 山 卓 二			第1・3			すずき ひでき 鈴 木 秀 喜			●	●		●	●
不整脈部門	午前	ないとう しげと 内 藤 滋 人	第2	●	●	●	第2・4	整形外科	午前	くどう ちか 工 藤 千 佳	●	●	●	●	
		なかむら こうき 中 村 紘 規			●	●				やの ひでき 矢 野 秀 樹	●				
		ささき たけひと 佐 々 木 健 人					●			やました えいじ 山 下 英 治	●				
		よしむら しんご 吉 村 真 吾					●			やました えいじ 山 下 英 治		●		第2・4	
		にしうち すぐる 西 内 英	●							ないとう しげと 内 藤 滋 人				第2	第2
		かせの けんいち 粕 野 健 一		●						不整脈担当医師					第3
心臓リハビリ・心不全・心筋症部門	午前	こいたばし のりみち 小 板 橋 紀 通		●			●	循環器内科(専門外来)	午後	かせの けんいち 粕 野 健 一					第4
		ほしの けいじ 星 野 圭 治				●				診療科	医師名	月	火	水	木
新患者外来	午前	循環器内科 担当 医	午前8時30分～11時					●	●	●	●	●			
			●	●	●	●	●								

1 受付時間は、午前8時30分～11時までです。  
なお、予約再来の方は、午前8時15分から受付いたします。

【外来休診日】  
土曜、日曜、祝日  
年末年始(12/29～1/3)

2 紹介状持参の患者さんは、初診・再来にかかわらず、総合受付6番(地域医療連携窓口)で受付いたします。

3 当院は「紹介型外来」を行っており、紹介状持参の患者さんを優先して診療いたします。

地域医療連携室では、先生方から事前に患者情報を御連絡いただいたうえで、診察日時を予約いたします。FAX用診察申込書またはFAX用検査予約申込書《MRI・CT・シンチグラム・骨密度(DXA法)》を御利用ください。

円滑に診療を進めるためにも、事前予約を御活用ください。

なお、午後5時以降、または休診日にお

送りいただいたFAXへの対応は、翌日または休診日明けとなります。  
あらかじめ、ご了承ください。

患者さんの待ち時間を少なくするために、御協力をお願い致します。

予約紹介専用(連携担当直通)

電話:027-212-3018 / Fax:027-269-7286